

表4-4 定期モニタリング調査の結果

(平成18年3月31日現在)

地区名	汚染物質 (環境基準値)	汚染発見 年 月	モニタ リング 井戸数	定期モニタリングによる濃度変化		
				これまでの 最高検出 濃度 A(mg/λ)	最高濃度検出井 での最近2年間 の平均濃度 B(mg/λ)	B/A ×100 (%)
1 福井市麻生津	砒素 ^{注2} (0.01mg/λ)	16年 6月	2	0.012	0.008*	
2 越前市塚町・三ツ屋町		12年 6月	2	0.031	0.020	
3 坂井市坂井町上兵庫		10年 5月	1	0.035	<0.005*	
4 若狭町東部		9年12月	3	0.15	0.072	
5 高浜町菌部		2年11月	1	0.039	0.033	
6 永平寺町光明寺	1,2-ジクロロエチレン (0.004mg/λ)	12年 5月	3	0.015	0.0007*	5
7 福井市江守中 ^{注1}	トリクロロエチレン (0.03mg/λ)	10年 9月	1	<0.002	<0.002*	
8 福井市石橋町 ^{注1}		10年 9月	2	0.017	0.002*	24
9 越前市吉野		1年11月	5	0.11	0.058	57
10 越前市大虫		2年 2月	4	0.12	0.036	30
11 越前市米口町		10年 9月	2	0.17	0.025*	21
12 鯖江市豊		2年 6月	3	0.064	0.036	56
13 鯖江市神明南部		4年 5月	5	0.37	0.072	19
14 鯖江市立待南部		7年10月	4	0.054	0.019*	35
15 鯖江市立待北部		8年 5月	5	0.12	0.027*	23
16 鯖江市上河内町		8年 6月	3	0.31	0.014*	5
17 鯖江市立待西部		8年10月	4	0.16	0.026*	16
18 越前町小曾原1区 ^{注1}		10年 9月	2	<0.002	<0.002*	
19 越前町小曾原3区 ^{注1}		10年 9月	2	<0.002	<0.002*	
20 敦賀市布田町	テトラクロロエチレン (0.01mg/λ)	11年 5月	4	0.021	0.0099*	47
21 越前市北府		1年11月	4	0.027	0.016	59
22 大野市新町		1年12月	5	0.065	0.010	15
23 勝山市滝波町		8年 5月	3	0.024	0.0057*	24
24 鯖江市本町		5年 4月	5	0.38	0.15	39
25 鯖江市横越町		7年 5月	2	0.017	0.0030*	18
26 永平寺町牧福島		4年 5月	5	0.087	0.0011*	1
27 福井市蒲生	硝酸性窒素及び亜硝酸 性窒素(10mg/λ)	16年 6月	1	13	8.4	53
28 高浜町立石		15年 5月	2	45	24	76
29 鯖江市水落	六価クロム(0.05mg/λ)	12年 8月	1	0.54	0.17	31
	硝酸性窒素及び亜硝酸 性窒素(10mg/λ)	15年 5月	2	28	8.2	29
30 高浜町東三松	砒素 ^{注2} (0.01mg/λ)	12年 6月	1	0.032	0.023	
	硝酸性窒素及び亜硝酸 性窒素(10mg/λ)	12年 8月	1	51	26	51
31 鯖江市立待東部	1,1-ジクロロエチレン (0.02mg/λ)	7年12月	1	0.13	0.052	40
	トリクロロエチレン (0.03mg/λ)			0.099	0.013*	13
32 越前市王子保	シス-1,2-ジクロロ エチレン(0.04mg/λ)	6年11月	7	0.097	0.054	56
	トリクロロエチレン (0.03mg/λ)	2年 7月		0.11	0.011	10
33 鯖江市筋生田町	シス-1,2-ジクロロ エチレン(0.04mg/λ)	11年10月	2	0.073	0.036*	49
	トリクロロエチレン (0.03mg/λ)			0.11	0.048	44

(資料 環境政策課)

備考 *は、最近2年間の地下水汚染物質の平均濃度が環境基準以下であることを示します。

(注1) 環境基準の超過が工場敷地内の地下水に限定された地区。

(注2) 砒素による地下水汚染の原因は、いずれも自然由来と考えられます。